

# こども若者県政モニター 令和7年度 第4回アンケート結果



岐阜県広報課管理広聴係



# 令和7年度 こども若者県政モニター 第4回アンケート調査結果

## 調査実施の概要

1. アンケート期間 令和7年10月27日(月曜日)から11月11日(火曜日)まで

2. モニター数 400人

3. 回答者数・回答率 回答者数:272名 回答率:68.0%  
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。  
そのため、合計が100%にならない場合があります。

## 4. 回答者属性

### (1)性別

	人数	割合
男性	105	38.6%
女性	162	59.6%
回答しない	5	1.8%
その他	0	0.0%
計	272	100.0%

### (2)学年別

	人数	割合
小学1年生	20	7.4%
小学2年生	19	7.0%
小学3年生	26	9.6%
小学4年生	22	8.1%
小学5年生	23	8.5%
小学6年生	23	8.5%
中学1年生	27	9.9%
中学2年生	27	9.9%
中学3年生	22	8.1%
高校1年生	18	6.6%
高校2年生	20	7.4%
高校3年生	25	9.2%
計	272	100.0%

### (3)年齢別

	人数	割合
6歳	7	2.6%
7歳	22	8.1%
8歳	20	7.4%
9歳	23	8.5%
10歳	25	9.2%
11歳	21	7.7%
12歳	26	9.6%
13歳	28	10.3%
14歳	24	8.8%
15歳	20	7.4%
16歳	23	8.5%
17歳	20	7.4%
18歳	13	4.8%
計	272	100.0%

### (4)居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	128	47.1%
西濃圏域	48	17.6%
中濃圏域	51	18.8%
東濃圏域	30	11.0%
飛騨圏域	15	5.5%
計	272	100.0%

## こどもの権利に関するアンケート

子ども・女性政策課

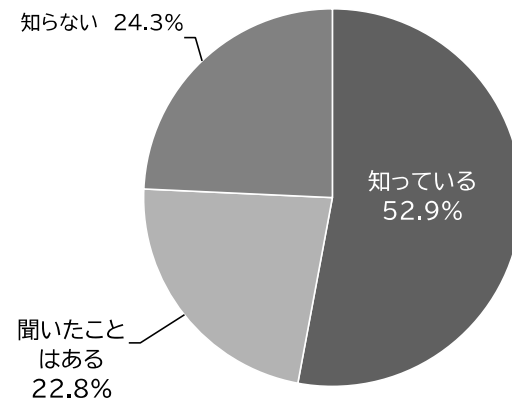
### 1. アンケート調査の目的

こどもの意見表明に関する施策に活用するため、アンケート調査を実施しました。

### 2. 調査結果

問1 すべてのこどもには大切な「こどもの権利」があります。例えば、「どんな理由があっても差別されないこと」、「ごはんを食べたり寝たりして、安心して暮らせること」、「自分の思っていることを言えて、やりたいことができること」などです。あなたは、こうした「こどもの権利」を知っていますか？

	人数	割合
知っている	144	52.9%
聞いたことはある	62	22.8%
知らない	66	24.3%
計	272	100.0%



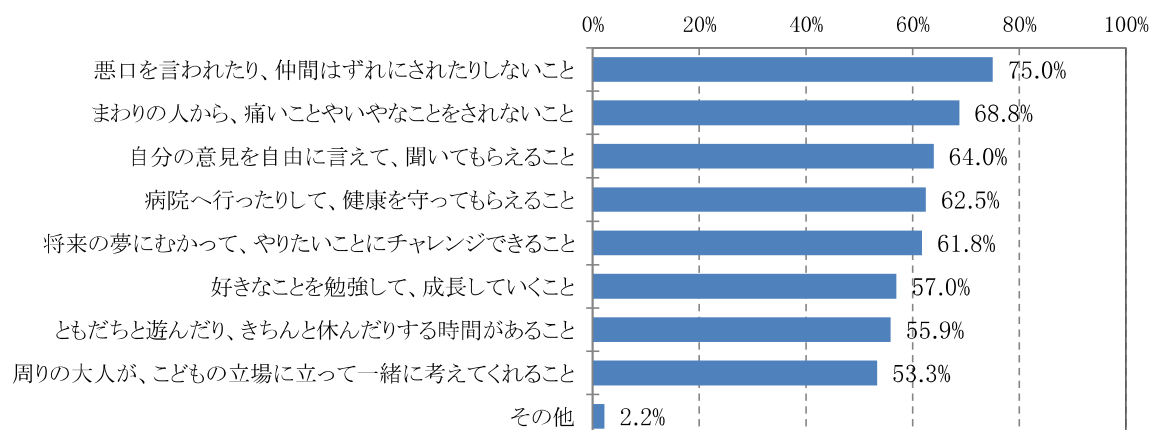
#### ～結果の概要～

全体の52.9%が「こどもの権利を知っている」と回答し、次いで「知らない」(24.3%)、「聞いたことはある」(22.8%)の順となりました。

問2 問1の権利以外にも「こどもの権利」には、次のようなものがあります。特に大切だと思うものを選んでください。

(複数回答) 回答者 272 人

	回答数	割合
悪口を言われたり、仲間はずれにされたりしないこと	204	75.0%
まわりの人から、痛いことやいやなことをされないこと	187	68.8%
ともだちと遊んだり、きちんと休んだりする時間があること	152	55.9%
将来の夢にむかって、やりたいことにチャレンジできること	168	61.8%
病院へ行ったりして、健康を守ってもらえること	170	62.5%
好きなことを勉強して、成長していくこと	155	57.0%
自分の意見を自由に言えて、聞いてもらえること	174	64.0%
周りの大人が、こどもの立場に立って一緒に考えてくれること	145	53.3%
その他	6	2.2%
計	1,361	-



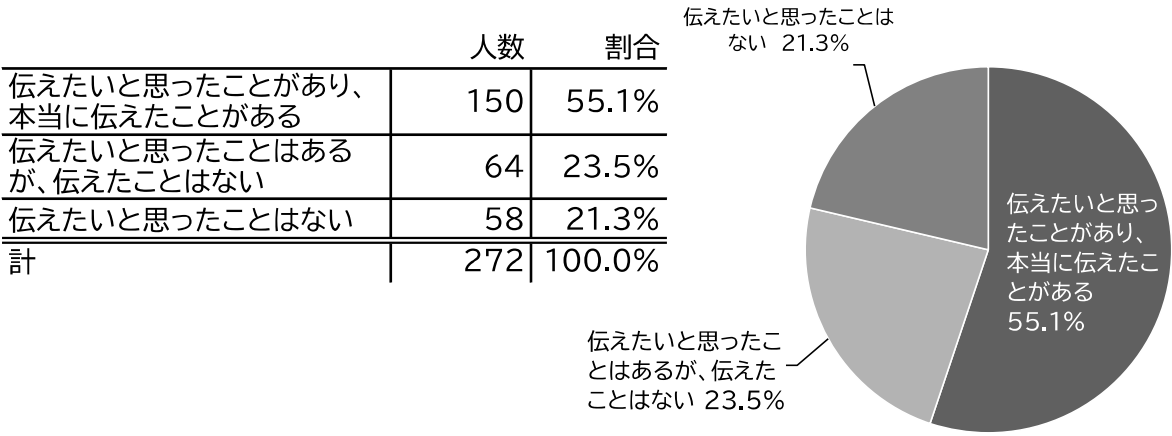
#### 「その他」のうち主なもの

- ・ 困った時に周りの大人や友達に助けを求められること
- ・ 最低限度の生活を送ること

#### ～結果の概要～

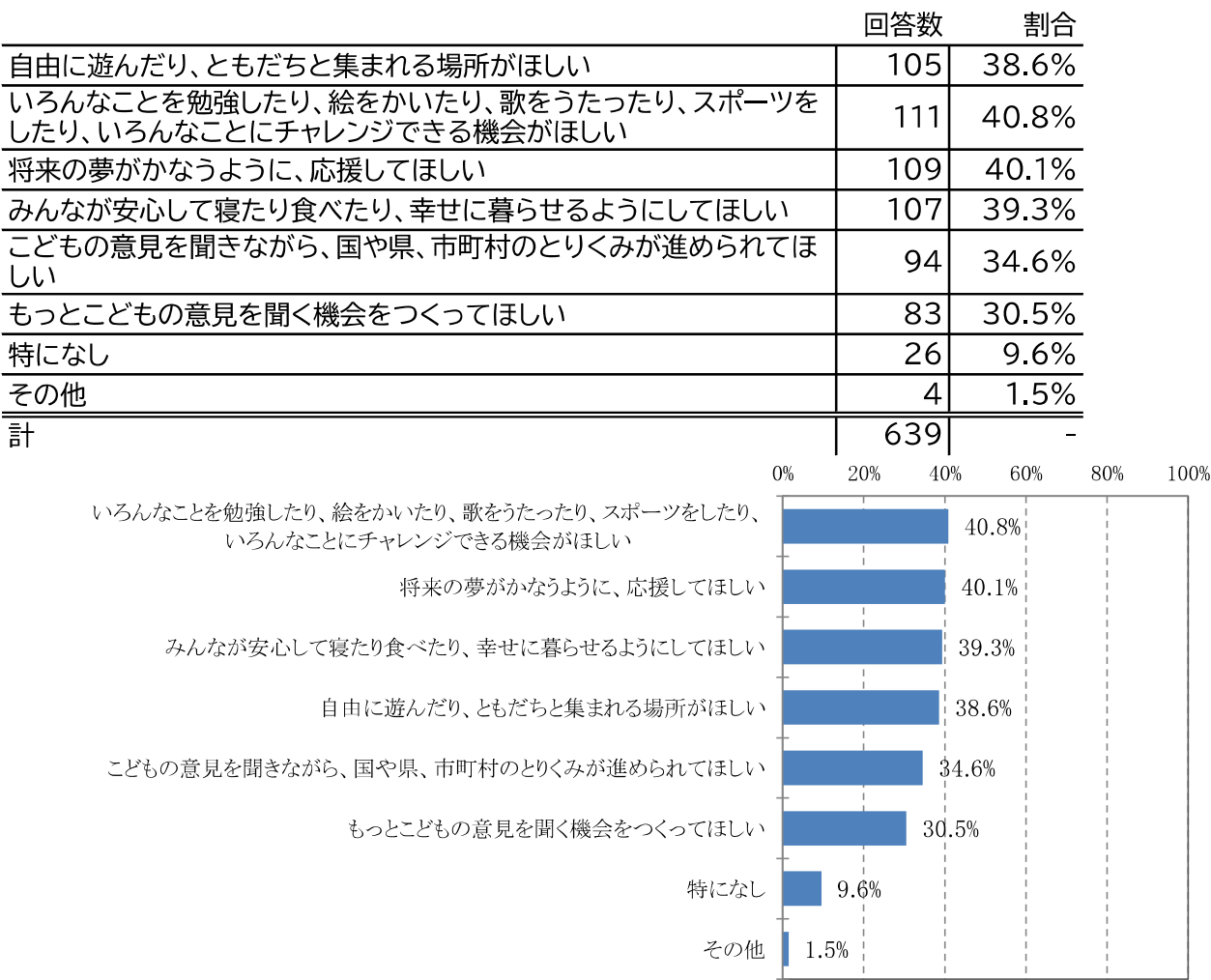
こどもの権利として大切だと思うものについて、全体の75%が「悪口を言われたり、仲間はずれにされたりしないこと」を選んでおり、次いで「まわりの人から、痛いことやいやなことをされないこと」(68.8%)、「自分の意見を自由に言えて、聞いてもらえること」(64.0%)の順となりました。

問3 みなさんが意見を伝えてくれたとき、大人はそれをしっかり聞いて、一緒にどうするかを考えます。これまで、家族以外の大人に自分の意見を伝えたいと思ったことはありますか？また、それを本当に伝えたことはありますか？



～結果の概要～  
 全体の55.1%が家族以外の大人に自分の意見を「伝えたいと思ったことがあり、本当に伝えたことがある」と回答し、次いで「伝えたいと思ったことはあるが、伝えたことはない」(23.5%)、「伝えたいと思ったことはない」(21.3%)の順となりました。

問4 あなたが家族以外の大人に意見を伝えるとしたら、どんなことを伝えたいですか？あてはまるものを選んでください。  
 (複数回答) 回答者 272 人

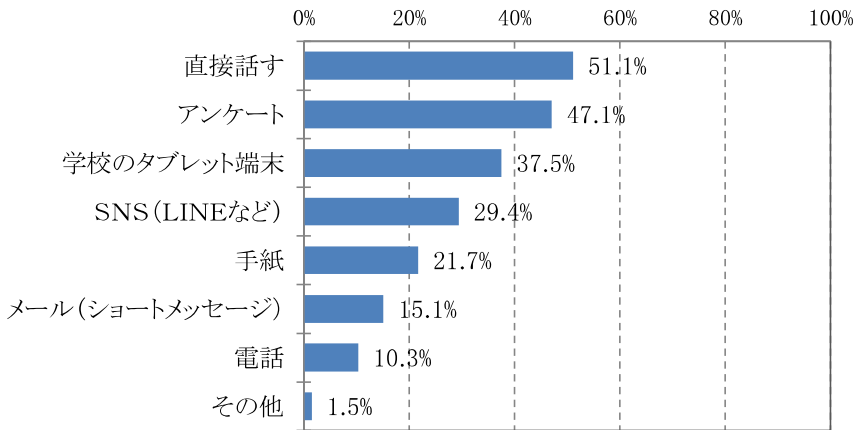


- 「その他」のうち主なもの
- ・ いじめをな—な—で済まさないでほしい
  - ・ 図書館以外にも学習スペースをもっと増やしてほしい

～結果の概要～  
 家族以外の大人に意見を伝えるとした場合に伝えたいこととして、全体の40.8%が「いろんなことを勉強したり、絵をかいたり、歌をうたったり、スポーツをしたり、いろんなことにチャレンジできる機会がほしい」を選んでおり、次いで「将来の夢がかなうように、応援してほしい」(40.1%)、「みんなが安心して寝たり食べたり、幸せに暮らせるようにしてほしい」(39.3%)の順となりました。

問5 家族以外の大人に自分の意見を伝える時、どんな方法だと伝えやすいですか？あてはまるものを選んでください。  
(複数回答) 回答者 272 人

	回答数	割合
電話	28	10.3%
手紙	59	21.7%
アンケート	128	47.1%
メール(ショートメッセージ)	41	15.1%
SNS(LINEなど)	80	29.4%
学校のタブレット端末	102	37.5%
直接話す	139	51.1%
その他	4	1.5%
計	581	-



「その他」のうち主なもの

- ・ビデオ電話
- ・教員に提出する生活ノート

～結果の概要～

家族以外の大人に自分の意見を伝えやすいと考える方法について、全体の51.1%が「直接話す」を選んでおり、次いで「アンケート」(47.1%)、「学校のタブレット端末」(37.5%)の順となりました。

## 伝統文化に関するアンケート

### 1. アンケート調査の目的

岐阜県では、それぞれの地域で昔から大切に伝えられてきた「祭り」や「郷土芸能」がたくさん行われています。これから先もこれらを受け継いでいくための施策の参考とするため、アンケート調査を実施しました。

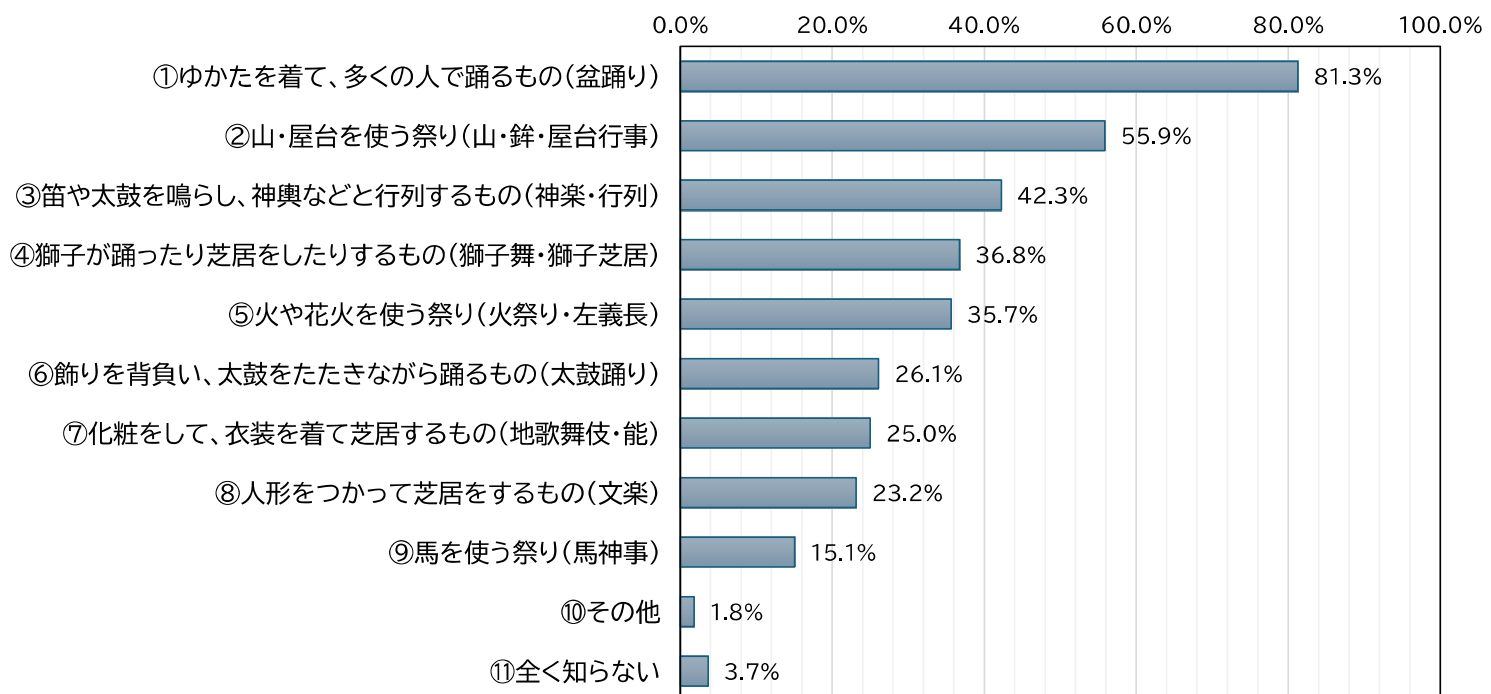
### 2. 調査結果

問1 岐阜県にある「祭り」や「郷土芸能」はどういったものを知っていますか？

回答者 272 人 (複数回答)

○知っているとは回答した人数と割合

	人数	割合
①ゆかたを着て、多くの人で踊るもの(盆踊り)	221	81.3%
②山・屋台を使う祭り(山・鉦・屋台行事)	152	55.9%
③笛や太鼓を鳴らし、神輿などと行列するもの(神楽・行列)	115	42.3%
④獅子が踊ったり芝居をしたりするもの(獅子舞・獅子芝居)	100	36.8%
⑤火や花火を使う祭り(火祭り・左義長)	97	35.7%
⑥飾りを背負い、太鼓をたたきながら踊るもの(太鼓踊り)	71	26.1%
⑦化粧をして、衣装を着て芝居するもの(地歌舞伎・能)	68	25.0%
⑧人形をつかって芝居をするもの(文楽)	63	23.2%
⑨馬を使う祭り(馬神事)	41	15.1%
⑩その他	5	1.8%
⑪全く知らない	10	3.7%
計	943	—



「⑩その他」のうち主なもの

- ・ 美濃流しにわか
- ・ いも祭り
- ・ 刃物祭り

～結果の概要～

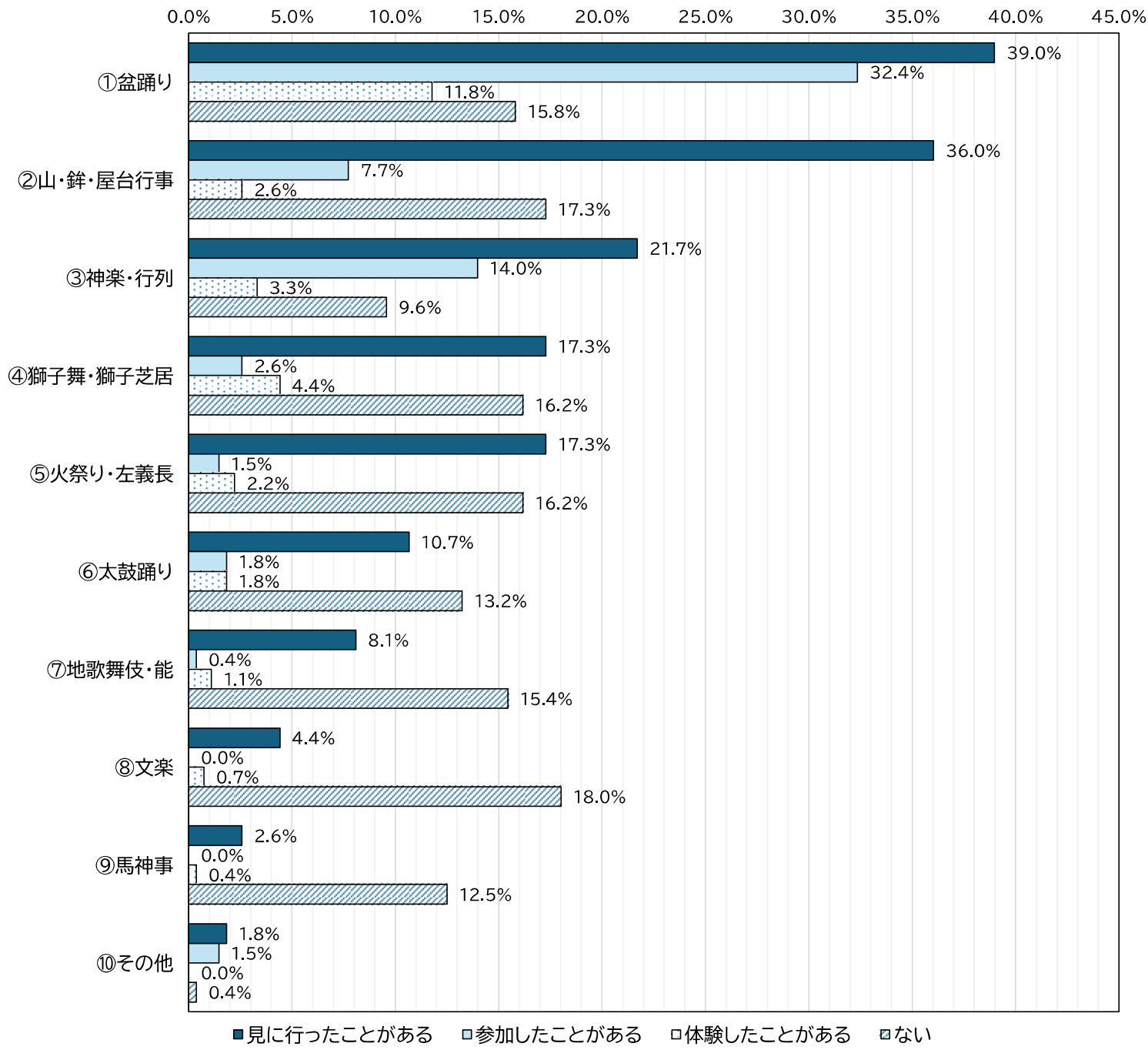
・「①盆踊り」が221人(81.3%)と最も多く、次いで「②山・鉦・屋台行事」(152人、55.9%)、「③神楽・行列」(115人、42.3%)、「④獅子舞・獅子芝居」(100人、36.8%)の順となっている。「全く知らない」と回答した人は10人(3.7%)と少数であった。

問2 (問1で①～⑩を選んだ方)

その「祭り」や「郷土芸能」の中で、実際に見に行ったり、参加したり、体験したりしたものはありますか？

回答者 272 人 (複数回答)

	見に行ったことがある		参加したことがある		体験したことがある		ない	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①盆踊り	106	39.0%	88	32.4%	32	11.8%	43	15.8%
②山・鉦・屋台行事	98	36.0%	21	7.7%	7	2.6%	47	17.3%
③神楽・行列	59	21.7%	38	14.0%	9	3.3%	26	9.6%
④獅子舞・獅子芝居	47	17.3%	7	2.6%	12	4.4%	44	16.2%
⑤火祭り・左義長	47	17.3%	4	1.5%	6	2.2%	44	16.2%
⑥太鼓踊り	29	10.7%	5	1.8%	5	1.8%	36	13.2%
⑦地歌舞伎・能	22	8.1%	1	0.4%	3	1.1%	42	15.4%
⑧文楽	12	4.4%	0	0.0%	2	0.7%	49	18.0%
⑨馬神事	7	2.6%	0	0.0%	1	0.4%	34	12.5%
⑩その他	5	1.8%	4	1.5%	0	0.0%	1	0.4%



～結果の概要～

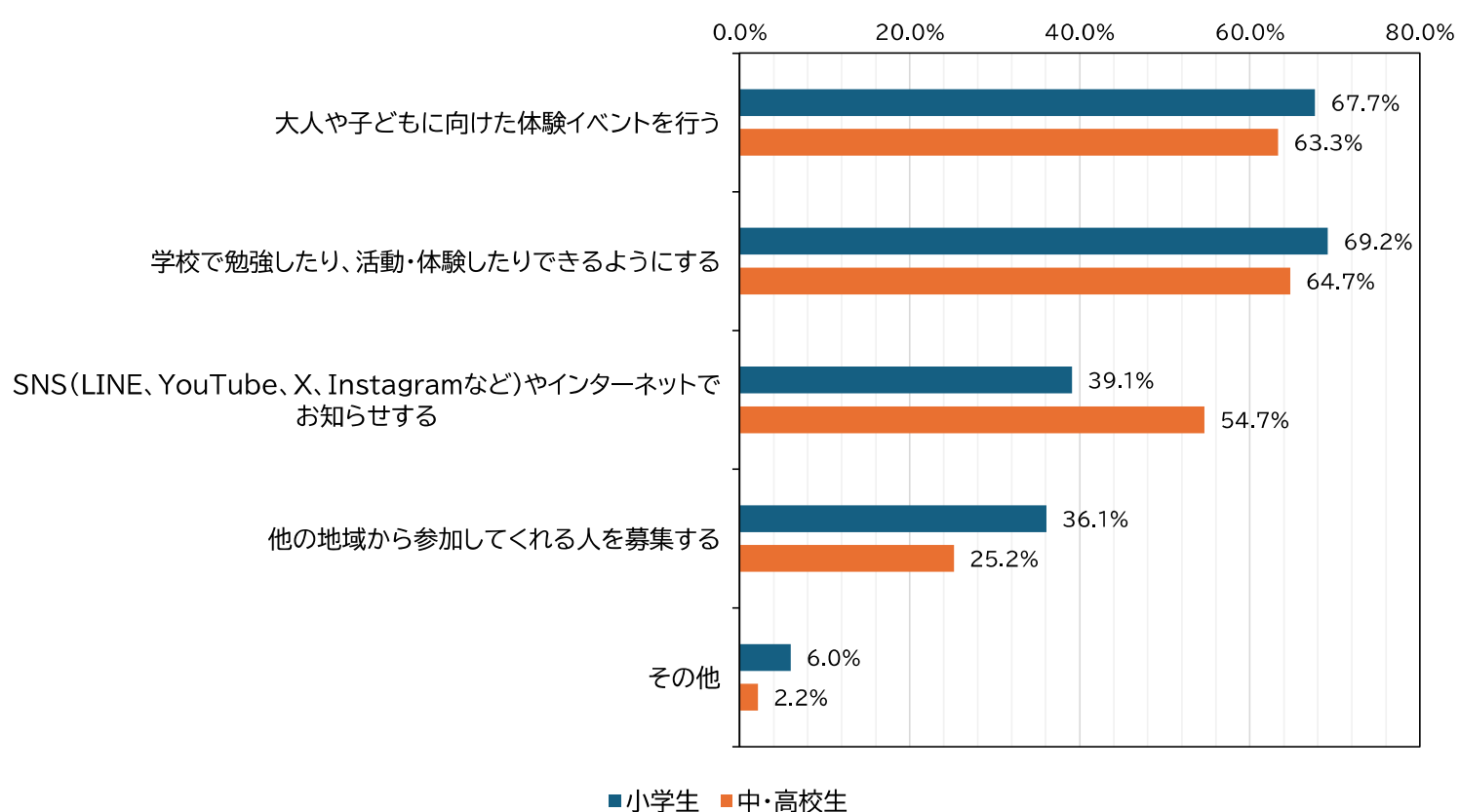
- ・問1において認知度が高かった「①盆踊り」や「②山・鉦・屋台行事」は、3割以上の方が「見に行ったことがある」と回答。
- ・「②山・鉦・屋台行事」は、「見に行ったことがある」と回答した人と比べ、参加・体験したことがあると回答した人はわずかであった。
- ・「参加したことがある」と「体験したことがある」で最も回答が多かったのは「①盆踊り」で、それぞれ32.4%、11.8%であった。



問3 「祭り」や「郷土芸能」を、これからも受け継いでいくにはどうしたらいいと思いますか？

回答者 272 人（小学生 133 人、中・高生 139 人）（複数回答）

	小学生		中・高校生		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
大人や子どもに向けた体験イベントを行う	90	67.7%	88	63.3%	178	65.4%
学校で勉強したり、活動・体験したりできるようにする	92	69.2%	90	64.7%	182	66.9%
SNS(LINE、YouTube、X、Instagramなど)やインターネットでお知らせする	52	39.1%	76	54.7%	128	47.1%
他の地域から参加してくれる人を募集する	48	36.1%	35	25.2%	83	30.5%
その他	8	6.0%	3	2.2%	11	4.0%
計	290	—	292	—	582	—



「その他」のうち主なもの

- ・ 地域の人たちにチラシを配布
- ・ 臨時駐車場などにより車を止められる台数を増やす
- ・ 公共交通機関やシャトルバスなど会場へのアクセスを充実させる
- ・ 地域に愛着や興味を持つ人が増えるようにする
- ・ 祭りや郷土芸能への参加の入り口となるプラットフォームを作る
- ・ 参加者にお金を配る
- ・ 外国人も参加できるようにする

～結果の概要～

- ・ 「大人や子ども向けに体験イベントを行う」や、「学校で勉強したり、活動・体験したりできるようにする」と回答した方が6割以上であった。
- ・ 「祭り」や「郷土芸能」をこれからも受け継いでいくためには、それらを体験できる環境づくりの必要性を若い世代は考えていることが分かった。
- ・ 「その他」の意見として交通アクセスの向上やプラットフォームを作るなど参加への敷居を低くする取り組みについて回答があった。
- ・ 「SNSやインターネットでお知らせする」は、中高生が約55%となり、小学生よりも多かった。



問4 「祭り」や「郷土芸能」について思っていることや、やってみたいことなど自由に書いてください。  
(主な意見)

《参加・体験について》

- ・ 郡上踊り、盆踊りを踊ってみたい
- ・ 獅子舞に参加したい、獅子をやってみたい
- ・ 太鼓を叩いてみたい、笛を吹いてみたい
- ・ 祭りで笛を吹いてみたい
- ・ 神輿を担ぎたい
- ・ 歌舞伎や人形浄瑠璃をやってみたい
- ・ 歌舞伎のメイクをしたり、衣装を着る体験をしたい
- ・ 浴衣を着てみたい
- ・ 馬に乗りたい
- ・ ジュニアクラブや保存会に入りたい
- ・ みんなで踊るのはたのしい
- ・ 踊る歌に合わせて動きにも意味があり面白い
- ・ 祭りや郷土芸能を知るのも楽しいけど、実際に参加したときの楽しさは味わえない

《学校でやってほしいこと》

- ・ 授業で郷土芸能を学びたい
- ・ 学校で体験できる機会を増やしてほしい
- ・ 校外学習やワークショップを取り入れてほしい
- ・ 学校でお知らせしてほしい
- ・ 歌舞伎や踊りをクラスでやってみたい

《情報発信・周知》

- ・ パンフレットや資料で詳しく知りたい
- ・ 祭りの開催日時や場所をもっと知らせてほしい
- ・ SNSやポスターで広めてほしい
- ・ SNSで踊り方や歴史を発信
- ・ 他県や外国人にも情報を発信してほしい
- ・ 新しい形で発信していく必要がある

《「お祭り」や「郷土芸能」の継承・存続》

- ・ ずっと続いてほしい、100年先も残したい
- ・ 一度消えてしまったら二度と戻らないので残していきたい
- ・ 若い人が離れていき継ぎ手がいなくなるので若い人に魅力を伝える活動をやらないと続かない
- ・ 昔からのお祭りは歴史を知ることができて面白い
- ・ 祭りや郷土芸能は、地域に根付いたものであり地域の人々の絆を深めるためにとても有効である

《課題》

- ・ 人が減っている、若者が離れている
- ・ 後継者不足が心配
- ・ 交通や駐車場が不便
- ・ 敷居が高そう、恥ずかしい
- ・ 部活や予定で参加できない
- ・ 子どもや高齢者向けばかりで若者が楽しめない
- ・ コロナ禍で縮小・廃止になった
- ・ 運営の負担が大きい

《提案・アイデア》

- ・ 無料講習会や体験会を増やす
- ・ イオンなど身近な場所で体験できるようにする
- ・ 他地域でも伝統祭りを開催
- ・ 子ども会に入っていない子も参加できる仕組み
- ・ 外国人や地域外の人も担い手に
- ・ ボランティアや運営側の工夫を増やす
- ・ 大人と子どもが一緒にできるお神輿があると良い
- ・ 他地域の友達と一緒に参加できるようになると良い

《その他:感想》

- ・ コロナ禍の後からは縮小、廃止になってしまったものがあり、残念に思う
- ・ 岐阜県には受け継がれてきた祭りや郷土芸能がたくさんあったのでびっくりした
- ・ 前は学校で神輿を作っていたけど無くなってしまったから少しさみしい